

**事業所名** グループホームあかいわ  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年10月18日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 生活指導員  
資格・経験 介護支援専門員、ホームヘルパー2級、社会福祉主事、訪問介護員  
B: 現職 看護師、介護支援専門員  
資格・経験 看護師(37年以上)、介護支援専門員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

グループホームあかいわは、郊外の田園地帯にある。商業地に近く、バスや道路の利便もよく、自然環境、社会生活環境共に恵まれている。

「安心の老後を、心豊かな老後を」を目標に、快適・安心・充実の実現を理念としている。職員は、気配り目配りに徹底し、各個人の特性・感性を把握し、生活歴を活かされた、きめ細やかで丁寧な介護を行っている。

建物の周りが遊歩道になっており、外の風景を楽しみながら自由に散策ができる。少し離れた所には菜園もあり、季節の収穫を楽しみながら、機能維持訓練につながっている。

医療機関との連携を密にしている。緊急時の支援体制が整っており、安心して生活できる。併設の事業所との合同事業による交流が行われ、共同生活に楽しみと潤いを与えている。

近所の方がお孫さんを連れてホームを訪れたり、子供が帰りにトイレを借りに立ち寄る事もあり、地域の人がよく訪問している。ボランティア募集の掲示をしたり、近くの保育園と定期的に交流するなど、ホームの存在が地域に密着しつつあり、その効果が入居者に好影響をあたえている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特に改善の余地があるとは指摘し難いが、「遠距離の旅行など、色々な所にお連れしたい」という温かい職員の気持ちもあり、さらなるノーマライゼーションを進めることを期待する。

入居者本位の介護が徹底しており、その効果が入居者の表情や行動に表れている。入居者のより豊かな生活を目指し、自立促進、機能維持回復により一層努めれば、さらに地域と一体となったグループホームになると思われる。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>「安心の毎日を、心豊かな暮らしを」を基本理念として、「快適」「安心」「充実」の実現を目指している。</p> <p>「快適」なアメニティの実現には、入居者のプライバシーと尊厳保持を重要視している。寄り添う時間を多く取り、よく話し合い、個々に配慮したケアを目指している。</p> <p>「あんしん」の確保には、医療機関との協力体制を密にし、緊急時の医療が提供されている。より安全であり確実なシステム管理者とスタッフが一緒に研究している。</p> <p>「充実」な生活実現に向かっては、「気付きシート」を作り、各個人の経歴・趣味・希望を聞き取り作成している。個人個人の感性を探り、その人に合った生活スタイルを重視して、さらなる潤いのあるホーム生活を目指している。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>優しい声のトーンで会話をし、常に入居者と目線を合わせ、側に寄り、ゆっくり穏やかに話を聞くことを職員全員が心がけている。</p> <p>四季の移り変わりに応じて自然を楽しんでいる。節目ごとのお祭り・各種催し・行事に自由にマイペースで参加し、各自のリズムを大切に生活スタイルに心がけている。</p> <p>個人の自主性を尊重し、能力、意思を大切にしている。洗濯物等は見えるところにさりげなく置き、指示されることなく、自由に自発的に作業ができるようにしており、無理なところが見受けられない。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居時の面談で、本人の経歴・趣味・要望等を詳細に聞き取り、本人の特性をいかせる作業、または、趣味を取り入れている。</p> <p>「気付きシート」を備え、入居者との会話や見守りの中で、本人の能力・適正など気付く事があると直ちに書きとめ、本人の能力開発につなげている。</p> <p>各居室にはノックし了解を得て出入りしており、個人の自由とプライバシーが守られて尊重されるようになっている。</p> <p>個人の記録情報は、鍵をかけて保管管理されている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>「家族ノート」を作り、家族に各々の入居者の様子を逐一知らせている。また、家族の希望や思いを気楽に書いてもらっている。面談では汲み取れない家族のニーズが把握でき、よりきめ細やかなサービス向上に努めている。</p> <p>管理者と職員の意思疎通のため、常に職員会議などで話し合っている。「主任ノート」を設け、主任と職員との意見交換に使い、職員の意見や気持ちを汲み上げ、ストレス解消とチームワークの充実、現場技術の向上に資している。</p> <p>ヒヤリ・ハット報告を徹底し、それを基に分析をし、問題発生以前に未然に防ぐ方法を皆で話し合い、創意工夫している。</p>		